

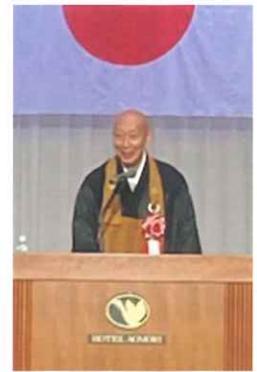
### 第69回東北・北海道地区 母子寡婦福祉研修大会に 参加して

開催日 令和7年9月6・7日  
場所 青森市 ホテル青森  
帯広市 甲谷 千春



提言発表する久保千鶴さん (帯広市つくし会)

今年の東北・北海道大会は青森市で開催され、帯広市つくし会からは副会長の櫻井と提言者の久保と私の3人で参加しました。  
研修討議で提言をすることになった久保は数か月をかけて内容を精査して当日に臨みました。久保の提言は好評をいただき、大変うれしく思いました。



恐山菩提寺院代 南直哉 (みなみ じきさい) 氏

この大会で何より私の印象に残ったのは2日目の講演でした。講師は青森県恐山菩提寺院代で福井県霊泉寺のお住職を務めている南直哉(みなみ じきさい)氏で、『魂のゆくえ』と題してお話しされました。すぐに話しに引き込まれ、あつという間に終ってしまっただけという感じがした。中でも、あなたがそこにいるだけで嬉しいと無条件で受け入れる人を親と呼ぶんだ、というところでした。親とは言葉で表すとそういう事なのかと感慨深く聞かせて頂きました。人と人との出会いは一期一会と言います。いつでもどのような方と出会い、どのようなお話しに触れるかわかりません。だからこそ出会いを大切にしたいし、人と出会う場に多く参加したいと思いました。来年のこの大会は山形で開催されるということです。みなさんは非一緒に参加いたしましょう。

### 令和7年度全国母子寡婦 研修大会に参加して

開催日 令和7年11月22・23日  
場所 鳥取県米子  
コンベンションセンター  
旭川市母子福祉連合会  
加藤 千顯



赤猪岩神社

「淀江さんこ節」の楽しいオーブニングが始まり、主催者挨拶、赤沢経済産業大臣などの祝辞、次いで功労者に大臣表彰及び感謝状の贈呈7団体(内北海道は函館市母子会)個人63名(内北海道は3名)が受けました。行政説明では、こども家庭庁のひとり親家庭の現状―所得の少なさ、こどもの貧困など―そして子育て、生活、就業、経済など支援策の説明。法務省民事局から民法等改正法についての解説があり大変勉強になりました。

た。これを会員さんに如何に伝えるかが課題です。研修討議では6人の方が発表されましたが、皆さんの体験の言葉は聴く者の胸に響きました。共同親権については、令和8年5月に施行されますが、当事者にはまだまだ不安が大きいです。子供の利益が最優先されるよう望みます。特別講演「私たちが手につくる地域共生社会」村木厚子氏のお話は、事件のことも含め穏やかな語り口の中に力強く分かりやすく理解しやすかったです。対人支援は本人を中心として「伴走」する意識。一人一人の尊厳と主体性を重んじる。網を網にする誰一人取り残さない共生社会をめざす。この度の研修への参加は大変有意義な時間になりました。

